

世界漫遊特集 vo.18 2016年12月号

北スペイン「ビルバオ」文・橋詰 英樹

ヨーロッパの人気観光国の代表ともいえるスペイン。真っ先に思い浮かぶ街といえばバルセロナであろう。初めてスペインを訪れる際は必ずといっていいほど訪れる都市。そしてそのバルセロナを含め、スペインの代表的なツアーは南部を周遊するのが定番だ。

しかし今回のお客様はスペイン訪問二回目の方々が多く、前回は訪れていない北部のバスケット方をメインのツアーを行った。そこで、バスク州ビスカヤ県の県都であるビルバオを訪れた。スペイン屈指の港、ビルバオ港を持つ港湾工業都市として栄えてきた。近年はそれに加え芸術、美食の街として人気となっている。旧市街などの伝統的なヨーロッパの町並みを残しつつ、一方では超近代的な建築物も点在する異種独特な街である。

芸術の分野では、人気の観光スポットで今やビルバオのシンボルともなった『グッゲンハイム美術館』がある。ニューヨークにある本館から誘致した分館だ。その外観はまるで宇宙船と見間違うような巨大な銀色の建築物である。主に近代美術作品が展示されており、巨大なクモや大きな犬（作品名は子犬）のオブジェなど大人も子どももそのスケールや奇抜さで十分楽しめる。芸術の都といえばパリだが、ここビルバオにも多くの芸術家が移り住んでいる。

また旅行において重要な食事は海の幸、山の幸が豊富でワインも有名なスペインには美味しいもので溢れており、特にスペイン料理は日本人にも好まれている。スペイン各地の料理はレベルが高いが、中でもこのビルバオは美食の街と言われている。観光客に大人気で、地元の人達の憩いの場でもある密集する旧都市のバルがおすすすめ。もちろん我々もバル巡り（数件のバルをはしご）を楽しんだ。バルは日本の居酒屋や立ち飲み屋のようなカジュアルな雰囲気のお店である。ビールやワインなど飲み物を注文し、カウンターにずらりと並んだ色鮮やかで美味しそうなタパスといわれる小皿料理を好きな分だけ取る。注文、支払いも簡単で観光客にも入りやすい。



スペイン旅行の際には新旧が融合し、魅力溢れるビルバオを是非訪れてほしい。